



2015年ホベツアラキリュウ発見40周年 - ホッピーがもたらしたものの② -

むかわ町穂別は、古くから白亜紀のアンモナイトやイノセラムス科二枚貝が産出することで有名でした。この地域での最初の研究は、日本国内や北海道における地質・古生物学研究の黎明期である1903年の矢部長克先生（当時東京帝国大学）によるアンモナイトの研究にかかのぼります。その後、北海道帝国大学、東京帝国大学、九州大学などを中心にアンモナイトやイノセラムスの研究が行われました。

1972年には国立科学博物館によって、北海道各地の白亜紀脊椎動物化石の調査が行われ、それまでに首長竜12標本（1963年報告の1標本を含む）、モササウルス1標本（穂別産）、ウミガメ3標本が報告され、北海道から白亜紀の海生爬虫類化石が比較的多く発見されることが分かってきました。しかし、それらは断片的な標本で、属種が明らかになったものはわずかでした。

1975年に長和地域で首長竜ホベツアラキリュウが発見され、旧穂別町はこれを地元に残すための発掘を行い、1982年に博物館を設立・建設しました。この発見以降、おもに地元の方々によって、多数の脊椎動物化石が発見され、それらは博物館に寄贈されました（表）。とくに博物館開館直後までの間に、全身骨格標本であったり、のちに新属新種として記載される標本などの重要な発見があり、新属新種のウミガメ（メソダーモケリス・ウンデュラータス、全身骨格標本を含む）と新属新種の陸生カメ（アノマロケリス・アングラータ、背甲の大部分の標本）はこの時期に得られていました。

学芸員 西村智弘

表 穂別町立博物館開館直後までに博物館に寄贈・収集された白亜紀脊椎動物化石

標本・分類群	発見・寄贈者	発見年月	産出部位	備考
首長竜	荒木新太郎	1975年6月	体幹部分、ヒレ	ホベツアラキリュウ
首長竜	黒崎満	1976年10月	腹肋骨	
ウミガメ	煤孫三広	1977年5月	背甲・椎骨・肢骨	新属新種メソダーモケリス・ウンデュラータス
陸生カメ	阿部利春	1977年	背甲	新属新種アノマロケリス・アングラータ ホロタイプ（当初は寄託）
ウミガメ	石崎正行・荒木新太郎	1980年9月	全身骨格大部分	新属新種メソダーモケリス・ウンデュラータス ホロタイプ
モササウルス	中条太光	1980年9月	尾椎骨・足根骨・指骨	
首長竜	三浦清	1981年9月	指骨・肋骨片	
ウミガメ	鈴木茂（学芸員）	1981年10月	背甲・大腿骨・椎骨	新属新種メソダーモケリス・ウンデュラータス
ウミガメ	鈴木茂（学芸員）	1981年10月	背甲ほか	新属新種メソダーモケリス・ウンデュラータス
首長竜	長岡静男	1981年	指骨・胃石ほか	
首長竜	穂別町化石研究会	1982年10月	椎体・肋骨	
首長竜	穂別町化石研究会	1982年10月	扁平骨・胃石	
首長竜	穂別町化石研究会	1982年10月	椎体・肋骨・胃石	
モササウルス	森谷彰	1982年10月	頭骸骨片・頸椎・角骨	日本初産出のプリオプラテカルプス亜科



ほぼ全身骨格のウミガメ
メソダーモケリス・ウンデュラータス
(写真は背甲)



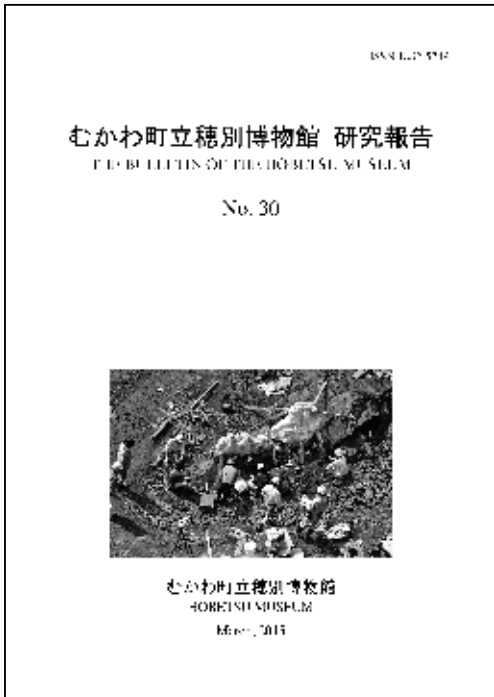
陸生カメ アノマロケリス・アングラータ
背甲のほぼ全体

2014（平成26）年度の寄贈資料

受入番号	資料名	個数	寄贈者	受入番号	資料名	個数	寄贈者
2014-001	アンモナイト	1	服部義幸	2014-021	アンモナイト	1	柳田透
2014-002	アンモナイト	1	服部義幸	2014-022	ウミユリ	1	柳田透
2014-003	サメ歯化石含有岩石	3	森木和則	2014-023	化石含有岩石（三角貝、ウミユリ）	1	柳田透
2014-004	サメ歯	1	森木和則	2014-024	化石含有岩石（フズリナ）	1	柳田透
2014-006	化石含有ノジュール	27	佐藤稔	2014-025	化石含有岩石（フズリナ）	1	柳田透
2014-007	化石含有ノジュール	2	斉藤春樹	2014-026	荷吊りベルト・ワイヤーロープ等	6	福田孝洋
2014-009	脊椎動物化石	1	大和治生	2014-027	イノセラムス	1	小山内年昭
2014-010	アンモナイト	1	大和治生	2014-028	イノセラムス（未定種） <i>Inoceramus</i> sp.	1	根岸拓真・本山功
2014-011	アンモナイト	1	大和治生	2014-029	アンモナイト <i>Polyptychoceras</i> sp.	1	根岸拓真・本山功
2014-012	アンモナイト	1	大和治生	2014-030	アンモナイト <i>Neophylloceras ramosum</i>	1	根岸拓真・本山功
2014-013	アンモナイト	1	岡島孝義	2014-031	イノセラムス・ジャポニクス	1	根岸拓真・本山功
2014-014	アンモナイト	1	堀田良幸	2014-032	スフェノセラムス <i>Sphenoceras</i> sp.	1	根岸拓真・本山功
2014-015	化石含有ノジュール	23	堀田良幸	2014-033	アンモナイト（大型アンモナイトの一部）	1	根岸拓真・本山功
2014-016	アンモナイト	1	マシュー ディック	2014-034	化石含有ノジュール	4	堀田良幸
2014-017	アンモナイト	1	マシュー ディック	2014-035	化石含有ノジュール	7	堀田良幸
2014-018	アンモナイト	1	小松俊文	2014-036	アンモナイト・直角貝・岩石ほか	11	乃万秀也
2014-019	アンモナイト	1	小松俊文	2014-039	アンモナイト <i>Anagaudryceras compressum</i>	1	田中源音
2014-020	イノセラムス	1	三宅優佳				

昨年度も多数の資料を寄贈していただきました。ここに記してお礼を申し上げます。

研究報告第30号を発行しました



北海道むかわ町穂別地域枯崎の沢川から産出した *Inoceramus (Platyceramus) japonicus*（イノセラムス科、二枚貝綱）の地質学的意義. p. 1-6.
根岸拓真（山形大学）・西村智弘（穂別博物館）・本山功（山形大学）



発見した示準化石
イノセラムス・ジャポニクス

従来白亜系でないと考えられていた地域から白亜紀の示準化石を発見したことで、その地層が白亜系蝦夷層群であることがわかりました。

穂別産恐竜化石 発掘記録（2）第二次発掘. p. 7-32.
櫻井和彦（穂別博物館）・西村智弘（穂別博物館）・小林快次（北海道大学総合博物館）

2014年の恐竜発掘の経過などについて記しています。

博物館HPで論文のpdfを閲覧・ダウンロードできます。

中村記念館開館

国の登録有形文化財



今年度開館日・観覧時間
～8/31（月）9：30～16：30
休館日は博物館休館日と同じです。

観覧料
100円 高校生以下無料



むかわ町立穂別博物館

開館時間 9：30～17：00（最終入館16：30）

観覧料 個人/小～高校生：100円

大人 300円

団体/小～高校生：50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

5月2015年

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月2015年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日 町民無料観覧日

穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。